

令和4年度 公正入札調査会議議事概要

開催日及び場所	令和4年12月6日(火) 10:00~12:00 防衛省庁舎E1棟8階会議室		
委員	会長 楠 茂樹 (上智大学法学部教授国際関係法学科長) 会長代理 中村 豪 (東京経済大学経済学部教授) 委員 植村 京子 (深山・小金丸法律会計事務所弁護士) (五十音順) 木下 誠也 (日本大学危機管理学部教授) 五艘 隆志 (東京都市大学建築都市デザイン部都市工学科准教授)		
討議対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和4年8月31日		
討議対象件数	426件		
1. 入札結果の事後的・統計的分析結果について			
項目	建設工事、建設技術業務について		
意見・質問	回答		
○ 資材価格の上昇などが課題となるが、どのように考えているか。	発注時期に合わせてメーカーから見積を徴収するなど直近の市場価格を反映するよう努めている。 また、契約済の工事については、契約書に賃金や物価の変動に基づく請負代金額の変更を行うことができる規定があり、適切に対応している。		
報告事項	特になし。		

2. 談合疑義案件の処理状況について			
項目	工事	業務	談合疑義案件報告数
談合情報	0件	0件	0件
点検結果疑義	0件	0件	0件
意見・質問	回答		
	○ 報告案件なし		
報告事項	特になし。		

3. その他	
項目	(1) 地方防衛局の入札監視委員会における共通意見・提言等の報告 (2) 防衛省建設工事における競争性の向上に向けた取り組みについて (3) 近畿中部防衛局発注工事の官製談合事案に係る今後の対応について
意見・質問	回答
<p>(1) 地方防衛局の入札監視委員会における共通意見・提言等の報告</p> <p>○ 特になし</p> <p>(2) 防衛省建設工事における競争性の向上に向けた取り組みについて</p> <p>○ 競争性の向上は良いことであるが、様々な企業の参加を促すことにより、建設途中で受注者が倒産するリスクも考えられるが、対策はとられているのか。</p> <p>○ 競争性の向上に向けた取り組みの一環として、引き続き、取り組んでいただきたい。</p> <p>(3) 近畿中部防衛局発注工事の官製談合事案に係る今後の対応について</p> <p>○ 予定価格の基礎となる積算価格の作成・決裁の時期を入札後に行った場合、職員が入札金額を確認して、積算価格を操作するということが懸念される。</p> <p>○ 防衛省の考えは理解。 一般論として、ある不正を防ぐための制度を構築して、他の不正を招くという可能性はある。 仮に不正がまた発生したときに、何故この制度を取り入れたのかとなるので、その説明責任を十分果たせるようにする必要がある。</p>	<p>競争参加向上型に限らず、工事の契約の際には、金銭的保証又は役務保証というものを求めており、受注者が建設工事の途中で倒産するなどした場合は、保証会社が保証をすることとなっている。</p> <p>電子入札システムでは、開札日までは、誰も入札された金額を確認することはできないこととなっている。 一般競争入札の手続きの流れとして、積算価格の作成・決裁の時点では、既に入札がされていることにより不正の余地をなくすことを考えている。</p>
報告事項	特になし。